



勇気あるカミングアウト！

サービック労組と決別！

JS労組組合員であることを公表！

う ば な お き
姥 直樹さん（24歳）

本日、JS労と二重加盟していた姥直樹さんがサービック労組に脱退することを通告しました。そして、JS労の組合員であることを公表しました。

サービック会社へ申入れ！

JS労は、サービック会社に対して「申」第13号により「組合費控除の差し止め」と「組合員に対する不利益行為や不当な介入」を行わないように申し入れを行うと共に、弁護士名で、組合控除を直ちに止めるように通知しました。

サービック労組への通告！

サービック労組に対しても「統制処分や除名処分等」や「組合機関紙への掲出の禁止」、「組合費の控除停止」の通告を書面での郵送並びにFAX送信で行いました。

サービック労組の組合員の皆さん！

姥さんに続きJS労の旗のもとに結集しよう！

サービック労組脱退にあたって

1. 昨年11月、私は以下のようなメールをJS労にしました。

「私は株式会社関西新幹線サービックで働いています。会社には、関西新幹線サービック労働組合(サービック労組)とJRサービック労働組合(JS労)という2組合があり、会社はサービック労組とユニオンショップ制を結んでいます。私は、サービック労組に加入していますが、信用できないためJS労のHPをよく見ていました。そんな中で、私は職場でハラスメントに悩まされていました。何人かの方に相談しましたが一向に止まないため、思い切ってJS労さんへ投稿しました。よろしく願います。」と、

そしてJS労の役員さんに会い直接悩みを聞いてもらい、解決に向けて力を貸してもらうため、二重加盟でサービック労組には所属したままJS労さんに加入をしました。JS労の役員さんは約束通りに加害者に注意してくれました。その結果、加害者は謝罪をしてハラスメントはなくなりました。

2. ところが、サービック労組は、私がJS労に加入していることを疑い、問題にしたのです。

昨年12月10日、泊まり勤務を終え帰ろうとした時、JR新大阪駅の従業員専用扉の前で待ち伏せし、私が扉から出てきた途端、サービック労組の大城副委員長に腕を掴まれ拘束され、日生ビルのモスバーガーまで連れていかれました。そして、もう一人の人と共に40分間に渡り、「JS労に入っているという噂を聞いた。」「JS労に入っていたら取り返しのつかないことになる。」「JS労は公安から目をつけられている。」等々と、しつこく言われ脅かされたのです。

これは明らかな不当労働行為、腕を掴む暴行罪、拘束は監禁罪になります。JS労さんからすれば名誉毀損です。

そしてあろうことか、サービック労組は、その1回だけでなく1月13日にも同様な手口で扉の前に隠れるように待ち伏せ、今度は、大城副委員長ほか3名(第一事業所竹坂副委員長を含め合計4名)で、私を拘束しようとしてきました。職場からJRの改札口まで執拗に、「JS労に入っていないか?」「JS労に入っていて、後に分かれば解雇される。」「何も知らないでJS労に入っていた鳥飼の人も穏便に済ませ、抜けさせたこともある。」「JS労に入っていたら教えてくれ。」等々と言いながら、私には時間が無いのに、JR新大阪駅のアルデ改札口の前までしつこくストーカー行為を行ったのです。

3. 二重加盟で解雇することはできません。二重加盟による解雇は不当解雇に当たります。そこで私は、「抗議書」をサービック労組に送りました。ところが、失礼なことに、封書を開封しないで送り返してきたのです。私はあきれました。そして失礼なサービック労組の対応に、再度抗議と謝罪を求める書面を送りました。しかし、全く無視されたのです。もう怒り心頭です。この時、サービック労組を脱退してJS労加入を公表したいと思いました。

4. サービック労組は私への対応を、「サービック労組は顧問弁護士に相談して対応した。サービック労組は私を無理に引き止めたりしてない、私が勘違いしている。サービック労組は間違ったことも暴力行為もしていない。」等と、自分たちがやったことを否定しているようです。顧問弁護士にも相談して対応しているみたいですが、弁護士にきいたら、自分たちの行為が犯罪だとわかるはずです。もうここまで認めないのであれば、私は犯罪集団のサービック労組を訴えようかとも考えました。現在に至っても謝罪すらなく、嘘を周りに言うだけ言って、逃げ回っています。こんな嘘と犯罪集団のサービック労組を許すことはできません。我慢の限界に達しました。

したがって、私は、こんなサービック労組を本日、脱退します。そして、JS労の仲間の皆さんと一緒に闘う決意です。

2026年2月11日

姥 直樹